

ふるさと歴史散歩

〔第184回〕 松崎八幡宮と総社の争論 その九



『日本歴史地名体系』第35巻、「広島県の地名」に「多家神社」の項目がある。執筆者河村昭一氏の文を引用する。

「式内社多家神社は永く所在が不明であったが、17世紀末に府中の惣社と松崎八幡宮とが互いに式内社と主張して争いが生じ、両社の対立は村民を二分して実に百年（実際は元禄から幕末までの170年）近くも続いた。両社とも多家神は自社に祀られているとして譲らず、明治4年（1871年）旧藩主浅野氏は両社とも廃して東京に移す意向を示した。そこで双方の氏は妥協して、両社のほぼ中間にあたる誰曾の森に両社を合祀し多家神社と称するようになった。（中略）明治7年多家神社創建にあたり浅野氏は広島城三の丸にあった稻荷社の社殿を寄進したが、大正4年（1915年）火災に遭い、境内南寄りにある宝蔵の

み焼失を免れた。このような経緯の中で、新生多家神社は、郷社として府中村一村の氏神としてスタートするよう決定された。さらに、郷社から一ランク上の県社への昇格も通知された。

維新政府は、仏像を御神体としている神社や神社と一体化した仏寺など神仏混淆の現状を見て神仏分離令をだし、仏教と神道を厳然と区別した。この後、旧物破壊と激しい廃仏毀釈が起こり、各地で廃仏寺が続出した。鶴岡八幡宮では境内に真言宗の十二ヶ寺があり、僧侶は全員還俗させられ、建物は破壊され仏像や仏具、仏画も破却された。興福寺も僧侶全員が還俗して無住になり管理を西大寺がおこなった。宮島も神仏混淆があり、神仏分離が徹底されているか確認のため、新政府から大参事の役人が巡視にやってきて、宮島の社殿が仏教式

なのを見て、社殿を焼き払い、神体を海に流すよう命じたという。言う通りにしていたら、今の宮島は無い。当時の柵守職の野坂元延が朝廷に訴え、現状維持の許可を得たのである。しかし本殿は元々色鮮やかな丹靨であったのが剥げて白木のようになり、残る色も剥ぎ取られ、本社の仏像は焼き払われた。府中村の八幡神社境内にあった五ヶ寺も神仏混淆の典型であった。



正徳2年「寺社堂古跡帳」(府中町史1巻より)

（二）広島県史（近代I）参照

◆平成15年12月より始まった「ふるさと歴史散歩」は今回で終了します。（15年5ヵ月、通算184回）郷土府中町の歴史に興味をもってくだされば幸いです。永い間の御愛読感謝します。

島根県立大学名誉教授

横田 禎昭

*3月号の「長訓」のふりがなに誤りがありました。正しくは「ながみち」です。訂正してお詫びします。

朝パッ君ネットワークおすすめレシピを紹介

パッとカン!

朝パッ君レシピ

冷蔵庫にある食材や調味料でアレンジしてね!

10分でいただきます!

手作りドライカレー



材料 (4人分)

- 小松菜 1袋
- たまねぎ 中1個
- 蒸し大豆 100g
- ひき肉 150g
- 油 必要な場合少々
- ※ひき肉から油が出ます。
- カレー粉 小さじ2
- ④ ウスターソース 大さじ3
- トマトケチャップ 大さじ2

作り方

- ① フライパンでひき肉とみじん切りにしたたまねぎを炒める。(炒めながら小松菜を切ると時短!小松菜は1cm幅に切る)
- ② たまねぎがしんなりしたら、小松菜、大豆、④を加え、全体がなじむまで炒める。

冷凍保存もできます!

レシピ提供 健康推進課

固健康推進課 ☎286-3257